This copy has been provided by the UBC Archives [or UBC Rare Books and Special Collections] and is to be used solely for research or private study.

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
1-16

II-9

PLEASE RETAIN
ORIGINAL ORDER

出稼移民

おことはり

カナダ　山家安太郎

筆者は明治四十年の夏、洋々たる希望を燃いて渡航した移民の一人であるが、顧れば過去四十年間は絶へず労働と戦つた、資本家からは安賃金和使はれ、常に排斥をれつゝ、中錦衣帰郷の夢醒めず四十年の永い歳月は流れてしまつたのである。

とうとうたる吾等日本人の血は一世界至此の大和民族」と謂ふ自惚れを持つて居た、

18

世界各国から移民が集つたアメリカやカナダの、人種展覧会の様な所で、富士山と藝者がルツボ以外に誇る可き何ものも無い吾々であつたが、それでも大和民族は偉い民族であつて世界各地の連綿たる皇室を頂いて居ると外国人には解せない誇りを以て居た、

だから到る所に日本人は固体を作つて獨尊の気焔を挙げ、意味も知らずに日本精神あるものを鼓吹した、

もんぢ町会にでも日本語学校を建て、日本語を教へ、在留国の国民教

10 × 20

音よりもズットカ強を入れた、何をおいても子供に日本精神を教へねばと力んだのである、巨額の金を集めて荘麗な寺院を建て、精神の指導よりも吾々社会の社交の中心にした、娯楽場も飲食店も、商売も吾々生ひの苦喰生活であつた、英語国の治下に住んで英語一つ知らず、彼はすべの生活であつた、アメリカ人これを呼んで小東京と謂ひ、支那人も同じく自ら中華と誇つて、大洋岸到る所に小東京と上海小路が出現したのであつた、

意味を大和民族の精華と誇る可からざる
日本精神の発揚故に、吾々は移民地に
本志を延長して到る処で恐れられ猜疑の眼で
視られ排斥せられたのである、
終り吾等は「吾が民族がケート一共ら優秀
である為に排斥されるのである排斥する奴が悪
いんだし」と某領事から教へられた吾々で
あった。
アメリカ、カナダの都市や或る都地方には
イタリヤ人街、ユダヤ人町、ユダヤ人街
とか数民族の集団区域は勿論存るのであるが

10 X 20

日本人の特殊な閉鎖的誇りを持った民族は他に無い、ヒトラーが独裁権を握ってから陰つた同化幸か不幸かの日本人の比ではない
ら在外ドイツ人の間にナチス運動を機んにし
在外ドイツ語学校に莫大な補助金を出すこと二
世のナチス化に努めたが其の感化力は殆ど見
る可きものは全かつた、

今回の大戦でカナダ、アメリカの如きは三
大敵性外国人が居た、ドイツ人、イタリヤ人
、日本人であるが前二者は数に於て日本人ま
りも桁はずれに多いに不拘、要注意人物は少

抑留された在留邦人其他はお構へなしで、終等の二世は奥ゆかなゝ多人となる為に本人より家需工場の仕事口も豊へたのに、吾々日本人は一世、二世、帰化人の別なく、沿岸から百哩奥地へ移動を命ぜられ、収容監視をれたばかりでなく、過去五十年間に築き上げた産産の基礎を悉く奪はれ元の古巣に帰られ、あいやうに全部統制会社の下に置かれ日本人財産家の仕方が敵性

主旨であると
が終止符に成
主として調査及
害賠償の調査
終戦後之那人二世は出人と共にカナダの市
民権を認められたが日本人二世は、ビーと
別法では市民権を認められるおい（此点米
玉は各州共選挙権をもへてゐる）、
「ウエスト・コーストプ・オールウエース・ヤップレ（日本人は何処迄も日本人だ）」と謂

10 × 20

排作屋の
ふ、通り言葉蝶、で
である、マ司令部が通りに幾つも
一つに省吸宗教局が神道を迫害と
から切り事を誇りとして
た事が指摘されて居る

それ程に大和民族の美徳を国賊し、日本精
神を誇った吾々であったが在米、加十八万同
胞の中品の一人も敵国に居てサボタージュし
たる実が挙げられなかった、たゞアメリカ
に於ても理由も無く在留邦人（敵

10 x 20

玉ノ
玉ノ 官憲に反抗する
至上の 愛国だと考へる一流
から あり、親の感化
も二世が官憲の眼前で其の
生活状態を踏み
しみた 親がり、投物及すき
ったた 者が相当あった、(伝ひ)
一世 は現在も
仏な思想を持つて
カナダにも
が 帝国(存)在し國費
居るのである。
に一矢酬ゆる為め
は皆愚かある同胞
(至)

10 X 20

ふ為めの職人(モヅ)あつた、(統)尊(等)の日本精神の底をはたいて出たものは(統)米、加の人々も此の日本精神(等)にドク(ク)哭び被つて居たやうであるが、私の驚く所では此等の靴がうを言ふ連中が(何とも)不思議に官憲に密告するやうな事(ノ)ない事。吾々が出稼根性の腰かけ主義で、外面の統治下に中裏面生活をしてゐる一方、本面(ノ)は海外協会を作つて郷里送金を奨励し、又た外務省に訴へて移民を出さぬ様に訴へ、米、

10 X 20

加の絶えざる拂底
而も幕法あど後世を
をうを居ながに過ぎ
は平面市井等の男
造んで居ないの
百五十万の引揚
增加する人口を養
産には限度がある
俄かを化するの
移民をる場合、
年一日の如き出稼ぎ

に押され年々、餘儀なく
らう改正をして消極的禁
ルうを
全部禁ずる時代から一歩も
が
ず七十万の自然
回ぬ
ず
に、年々
回
ず
ず
ず

と犯罪を減少させ
移住と定着と好適営の為め
と、政府当事者の移民政策も無論に沿うと
策をもって臨んだ女人移民に対する鑑賞と門
紅閉鎖は戦前の北
生活標準の低い南洋諸島にまで日本人出漁り
の札を懸けられる訳もう

勤労と生命を
営の為め指導する本人の覚悟

10 X 20

カナダもアメリカも建国の歴史は、英
大部分が移民の歴史である。又英移民の
異った、各国民を統一同化せしめんとする
動の記録である、
印十九世紀の末葉から此世紀の初頭にか
けて、潮の如くに流れ込んだ移民を歓化
し現在の壱千三百万の力十ダ国民を作つた
程が、カナダの歴史の全部である、
現在のカナダ国民を構成する為めに言語、習慣の

10 X 20

以上の言語、習慣を異にした外国人を
、アイヌ、コリヤーク、ツングースの
とも、ブリヤート、ヤクートの
たカナダ国民の新
然一体と成つたのが、カナダ国民の
あり、カナダ国民の構成を見ると佛蘭西
五十万人、スコットランド百四十万、英国
蘭西三百万、アイルランド百二十五万を筆頭
に、ユダヤ、ドイツ系四十五万
、スカンヂナビヤ系二十五万、オランダ系二

10 X 20

十一万、ユダヤ系十七万、ポーランド系十六万五千、イタリヤ系十一万、土人十二万、日ヤ系八万三千、その他東洋人合計七万五千（一九四〇年度の統計）外に政府の出迎からの移住となる。

此等の移民にカナダの民主主義と自由を教へ、建国工作の助に資し、社会機関の中初めから現在に到る迄、根本的に偉大なる指導精神を務めたものは各地（キリスト）教会にあつた。

10 X 20

仏国の探検家チャプレーンが一六一五年
に力ナダのセイント・ローレンス川流域地を開
いた時四人の宣教師を同伴なき・其後英国移
民の流入には殆ど必ず宣教師が同伴し・開拓
時代の移民と苦楽を共にし・精神的に彼等を
慰め・其の子弟の教育の任に当り・病院を建
て、病者を労はり貧者に施薬し・移民地に言葉
の通ずる理想を与へる為めに一六三六年早くも大
学を建設なき居る・カナダ諸校は教会は常に学
校の教師・社会の指導者を供給なき居る模倣に成

つて居た由の事なる

10 × 20

一七八三年アメリカが独立戦に勝つた時約五万人の英帝国忠誠組が、英領カナダに土着し、一部英国風とを異に、南部カナダに移住の伝統と教育に基く感化影響を先住民に与へたかを想像にかたくない。即ち佛系人の多い各地に英国的政治と社会を確立するに上に述の様な事情が出来る前の移民を一

一八三七年にカナダに聯邦議会が成立したが、基の多くが聯邦離脱を図ると、一七四九年、英本国の貴族階級を常に助けて成つた、

輸送船十三艘で招致し、今のハスコヤ町のハリファックス港の建設に着手した。

ロード、セルカークスコットランド、アイルランドの貧農階級を集めて移民し、プリンス、エドワード島に入殖せしめた。

合計八万人から成る此等貧農の一群は、前人未踏の荒地に上陸し、テントを張り、勃興、朋友相寄り相助けて、共栄自治の第二の故郷と寄る建設へ男女老若勉学に努

カ
ヒ
九
大
木
ヲ
組
ミ
テ
家
ヲ
作
リ
、
男
女
共
ヲ

開墾
ヒ
テ
春
明
ヲ
待
ツ
ヲ
麦
、
野
菜
ノ
種
下
シ
ヲ
シ

秋
ニ
ハ
早
ク
モ
全
村
自
給
自
足
ガ
出
来
ル
ヤ
ウ
ニ
ナ

ッ
タ
。
彼
等
ハ
大
木
ヲ
伐
ッ
テ
カ
又
ヲ
作
リ
未
ダ

漢
者
ヲ
知
ラ
ヌ
ル
ノ
豊
富
ナ
鳥
類
ヲ
思
ル
存
分
釣
リ
上

ケ
タ
。
森
ニ
入
ッ
テ
ハ
鹿
ヤ
野
豚
ヲ
狩
ヒ
テ
食
糧
問

題
ハ
解
消
ヒ
タ
ヲ
勿
モ
ナ
ク
ヤ
ガ
テ

ヒ
ル
カ
ラ
ノ
ル
ハ
ヤ
ガ
テ
カ
ラ
食
糧
ノ
移
民
ヲ
招
致

ヒ
テ
陸
ヲ
深
ク
侵
ス
ニ
ツ
レ
テ
ド
ン
ド
ン
ト
大

民
地
ヲ
作
リ
タ
。
今
ノ
マ
ニ
ト
バ
ッ
テ
ハ
根
拠
地
ヒ

10 X 20

此華移民は清朝政府の下に、獰猛な土人以外に生蕃者を原生林を征服し、此の大陸に最初の人間部落を創設し、カナダ西部建設の礎を据えた人々である、

此の人達の堅忍不抜の冒険精神に依つて、カナダに秋の訪れを告ぐる天然貿易は繁栄せられ、強く移民の源は一八二〇年から三〇年の十年間に一ケ年平均二万人以上の移民が英国から流れ込んだ、其後約十年間は平均二万七千人の移住があつた、それには英国

10 X 20

政府が莫大な補助金を支出し移民を奨励したの如きものた。

英国移住した英国系(現在)移民が現在米カナダ両国の基礎を成つて(現在)カナダ総人口の約半数と成り残り半数は諸外国移民(現在)あるが此の英系移民が主と成つて西部平原(先住を駆逐)開発の為めに政府(世界大戦後)と結託し多額の資金を投じ政府の奨励により集り出したのである。現在麦の産地となつてゐる北也と千と(世界大戦後)

こうした建国の意義を持つカナダが、この信念は
初期に送金し、小
高洋人を移民を拒絶
太平洋や高洋人移民を拒絶するのは当然である。
太西洋から政府移民を招致する（当然や）
政策の転換は、持
し、土着と共存
移民を歓迎する
ことが明白である。

10 × 20

終戦
最近カナダは政府の戦災国民を航空輸送
様に於しく選んで来て、中部カナダの農業開発に定住地を与へた
カナダに於ける移民政策に関する論調は第一に
カナダに見切りをつけ移住をすすめリカ人と成りカナダ人と成る決心で移住を
奨励
青壮者、又は把持の技術を有し、且つ産業奨
励に貢献出来る者を歓迎するの形あり。
古い言葉ではあるが郷に入っては郷に従
へ古い者は必ず排他的で新民族の為めに各国は
勿論自己を堅く閉ざすの形あらう。

10 × 20